



## 管理職の挨拶

相模原支援学校として新たなスタート 校長 飯窪 美紀子



このたび4月1日付で三ツ境支援学校から校長として着任いたしました飯窪です。昭和50年に開校した相模原養護学校から、今年度「相模原支援学校」と校名を変更し新たなスタートラインに立ちました。これまで培ってきた伝統を受け継ぎながら、さらなる発展に努力してまいります。

児童・生徒一人ひとりが目標をもって取り組める環境を整え、「できた」を実感し自己肯定感を高めていくことで自信や力をつけて自分らしさを発揮できるよう、子どもたちの学びを支えていきたいと思っております。新型コロナウイルス感染症が5類に移行することで活動の幅も広がっていくと思っておりますが、元に戻るのではなくよりブラッシュアップされた新たな教育活動になっていく必要があると考えています。令和5年度はまさにそのスタートだと捉え、教職員一同力を合わせ取り組んでまいります。今後ご家庭との連携を大切にして教育活動を充実させていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。また、今まで地域の皆様と連携して行ってきた交流活動や社会体験等についても、より深め発展させていきたいと考えています。子どもたちの自立と社会参加を目指す相模原支援学校の教育活動に引き続きご理解とご協力をお願いいたします。



左から飯窪校長、比留川副校長、荒井教頭

## これまでを生かし、これからを築く

副校長 比留川 はるか

着任3年目、副校長の比留川（ひるか）と申します。引き続きこの学校に勤めることとなり、とてもうれしいです。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

着任1年目は「良いところを知る」、2年目は「良いところを伝える」ことに努めてまいりました。そして、相模原支援学校としてスタートした令和5年度は、新たに着任された飯窪校長や荒井教頭、4月に着任された先生方、昨年度から継続して勤務されている先生方、保護者の方々や地域の方々などの皆さまと協力してひとつのチームとなり、(1)「この学校がこれまで以上に子どもたちがいつも元気に安全に楽しく学び、先生方が生き生きとしなやかに働けるようにすること」、(2)「より良く変えること」に取り組むたいと思っております。

(1)のためには、まず私自身が元気にゆとりをもって働くように心がけます。また、(2)に向けては、これまでコロナ禍において様々な工夫に取り組んできた2年間を知る者として、「良いところは生かし、柔軟にさらに良い方向へ無理なく改善する」ことを意識して、PTAの皆さまや学校運営協議会（コミュニティ・スクール）の委員の方々のお力もお借りしながら、笑顔あふれる学校づくりに邁進したいと思います。どうぞよろしくお願いいたします！

## お互いに認め合える授業を

教頭 荒井 佑輔

私は、8年前の相模原養護学校にいました。小・中・高、すべての学部を担当させていただきました。橋本高校で行われる分教室の文化祭にも、よく参加していました。こうして、相模原支援学校に戻ってくることができて、とてもうれしく感じています。

相模原支援学校には、目で見て学ぶことが得意な人、実際に物にさわって学ぶことが好きな人、言葉や歌、絵などで相手に伝える人など、さまざま子どもたちがいます。自分の得意な表現方法で、人や物とかかわりながら学ぶ子どもたちの姿は、キラキラと輝いています。

私は、一人ひとりの子どもたちの、多様な学び方を理解して、楽しい授業をつくる相模原支援学校が大好きです。相模原支援学校は、安心して失敗できる場所です。一人ではむずかしいことも、友達と一緒にチャレンジできる学校です。

未来を担う子どもたちの成長のために、学校が一体となって、互いが認めあえる授業をつくっていきます。そのためにも、保護者や地域のみならずともに、ワクワクするような教育活動を考えていきたいと思っております。一人ひとりの「得意」を生かした指導や支援の方法を、一緒に考えていきましょう。よろしくお願いいたします。



# ご入学、進級おめでとうございます

## 分教室1年担任

### 新入生を迎えて

4月5日、分教室1年生15名が入学し、分教室は全員で45人になりました。入学式は緊張した面持ちでしたが、通学が始まると少しずつ緊張もほぐれ、クラスでの話し合いも和気あいあいとできるようになりました。これからの高等部の生活に、さまざまな期待と目標があるようです。新入生歓迎会では、先輩たちと親睦を深めることができ、3学年みんな楽しんでました。未来に向けて仲間と励まし合い、切磋琢磨していきましょう。



## 小学部長

### 相模原支援学校へ

ようこそ！

4月5日、7名の小学部1年生ボーイズが入学しました！いつもと違うかきこまった服装で、初めての体育館での入学式に、入場前は「これからここで何をやるのだろう？」という落ち着かない感じでしたが、いざ式が始まると、保護者の方と一緒に堂々と入場できました。そして、新入生呼名では、マイクを向けると興味深そうに手を伸ばしたり、マイクの方に口を近づけたりしてお返事ができました。小学部1年生にとっては長い時間でしたが、よく頑張りました。そして5年生には新たに2名の仲間が増えました！これからの学校生活で色々なことを学び、大きく成長するのを楽しみにしています。



## 中学部1年担任

### 中学部1年生！！

中学部は新入生14名が入学し、2クラスで新しい学校生活が始まりました。はじめは緊張している様子もありましたが、日々活動するうちに徐々に慣れ、笑顔がたくさん見られるようになってきました。学年合同の学級活動では、一人ひとりしっかりと自己紹介することができ、交流を深めることができました。食べることやプールが好きな生徒が多かったです。これから日々の活動や校外学習などの行事を通して、さらに親交を深めながら「元気に！楽しく！笑顔で！」1年間過ごしていきたいと思っています。



## よーい、ドンッ！！

### 高等部1年チーフ



今年度の新入生は38名と相模原支援学校の中で一番の大所帯です。個々のペースは違いますが、それぞれが素敵な大人に向けて新しいスタートをきることができました。つまりたり、より道したりするかもしれませんが、それも大人になるための大事な経験。自分らしさを伸ばし、広げ、大切にしながら、自分のペースで一歩一歩前に、一緒に成長できたらと思っています。応援よろしくお祈いします！



## ボランティア活動

令和5年3月4日（土）にギオンスタジアムで「SC相模原」の開幕戦が行われ、本校高等部の生徒9名がボランティアとして活動に参加しました。活動は、昨年度同様に観戦グッズの配布とフラッグベアラーの活動を行いました。

観戦グッズは、4色のシリコンリストバンドで、ギオンの社員の皆さんと、笑顔で「お楽しみください」等と声をかけながら、観戦グッズを配布しました。また、試合前にスタジアムの中に特別に入れてもらい、選手たちがバスから降りて入るところで、直接、新監督や選手にエールを送ることができました。その後にSC相模原の社長へ手作りの応援メッセージを渡し、社長からも感謝の言葉がありました。その後、6名の生徒は、フラッグベアラーとして、多くの観客の皆さんが見守る中、チームフラッグを持ち、選手を誘導してピッチに入場する大役を果たすことができました。生徒からは、「人とコミュニケーションがとれたので良かった」「監督や選手に直接エールを送れてよかった」「こんな体験は、普通はできないので、参加してよかった」等の声を聞くことができました。（支援連携GL）

